

施工業者様用



オーダーメイド収納

【オオ】引違戸

共通施工説明書

対象製品

引違戸 2枚(2本レール)/3枚(2本レール)・3枚(3本レール)



201010

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町 1-15-10  
http://www.nankaiplywood.co.jp/

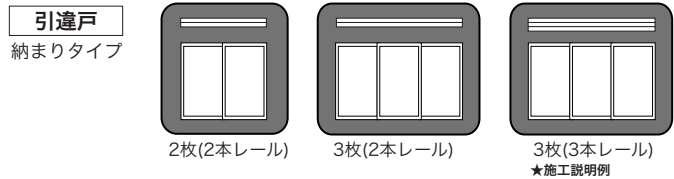
ダイヤルイン 市外局番共通 (087)

北海道・東北営業グループ	TEL825-3632	FAX825-3695
関東営業グループ	TEL825-3621	FAX825-3645
中部営業グループ	TEL825-3622	FAX825-3646
近畿営業グループ	TEL825-3623	FAX825-3647
中国営業グループ	TEL825-3624	FAX825-3648
九州営業グループ	TEL825-3625	FAX825-3649
特需営業グループ	TEL825-3662	FAX825-3669
テクノ営業グループ	TEL825-3657	FAX825-3659



施工前に本書を必ずお読みください

本施工説明書は以下の対象製品をひとつにまとめて説明しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。



■本書は引違戸3枚(3本レール)・右勝手を例に施工手順を説明しています。それぞれの相違点は扉枚数・レール本数で、基本的な施工方法は同じです。  
■2枚(2本レール)の場合は図中の ⊕ マークに該当する部分の手順がなくなります。同じ2本レールの3枚(2本レール)は、この2枚(2本レール)に準じます。  
■左勝手の場合は左右対象の取り付けとなります。  
このルールを基本にして、別添の製品詳細図面を参照しながら施工を進めてください。

注意事項

施工前に製品をよくご確認ください ●品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がありましたら、販売店様または弊社営業までご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので、必ず施工前に充分なご確認をお願いいたします。  
施工説明書をよくご確認ください ●間違った施工を行ないますと品質劣化や損傷につながります。本書以外の施工方法を行なった場合は、弊社での保証しかねますのでご注意ください。

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。	屋内であっても直接水のかかる場所や、湿度の高い場所には使用しないでください。	表面に粘着テープ(セロハンテープ、シール等)を貼らないようにしてください。	水・油・インク・薬品等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。
---------------------------	--	---------------------------------------	--

指示記号は下記のとおりです  
 ⊕ 禁止：行なってはならない項目です。  
 ⚠️ ご注意：特に気をつけていただく項目です。

安全上のご注意

■製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。  
■製品をシンナーやアルコールなどの溶剤で拭かないでください。色ムラの発生や、劣化を促進する原因になります。

施工上のご注意

製品の施工について  
 ■現場の建築完了まで、扉本体を養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

製品の施工について  
 ■本製品はクロス貼り前に施工してください。  
 ■2人以上で施工してください。  
 ■下地は木下地を使用してください。  
 ■付属のビスで施工してください。梱包に使用する箇所を明記しています。  
 ■部材には取付位置を示すシールを貼っています。■電動工具でビス頭がつぶれないよう、締めすぎにご注意ください。  
 ■上レールが確実に固定できているか必ず確認してください。固定が不十分な場合、部材の落下原因になりとても危険です。  
 ■扉本体が汚れた場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄く溶かした水を含ませて全体を拭き、その後アルミフレームのみ、水分を取り除くために乾拭きしてください。  
 ■製品の仮置・保管は直射日光の当たる場所や湿気の多い場所を避け、壁に立てかけて保管してください。  
 ■施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようにご注意ください。特に床は養生を行ない、製品および床面にキズが付かないようご注意ください。

施工時の製品の取り扱いについて  
 ■上レールや扉本体に、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、吊車やレールの摩耗の原因となり正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。  
 ■扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢いよく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。

ソフトクローズ機構(スムーザー)について  
 ■ソフトクローズ機構は扉を閉じる際の衝突音や跳ね返りを軽減する機能です。指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。  
 ■ソフトクローズ機構が作動する際、カシャという音が発生します。■扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じる場合があります。  
 ⊕ ソフトクローズ機構を扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、非常に危険ですので絶対に行なわないでください。

各部説明

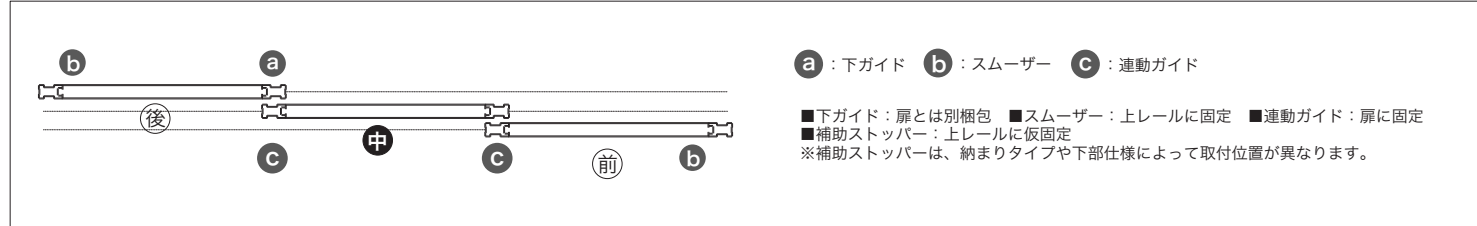
■各部名称/納まり図

上部仕様【断面図】  
 上レール、上レールカバー、スムーザー、吊車、補助ストッパー、吊車キャッチャー

下部仕様【断面図】  
 3枚(3本レール)・3枚(2本レール)、2枚、下ガイド、下ガイドローラー

扉本体と別梱包  
 下ガイド、下ガイドローラー、専用調整スパナ、ビス(各ビス別梱包)、その他は扉本体・上レールに取付済

■部品配置図【上面図】



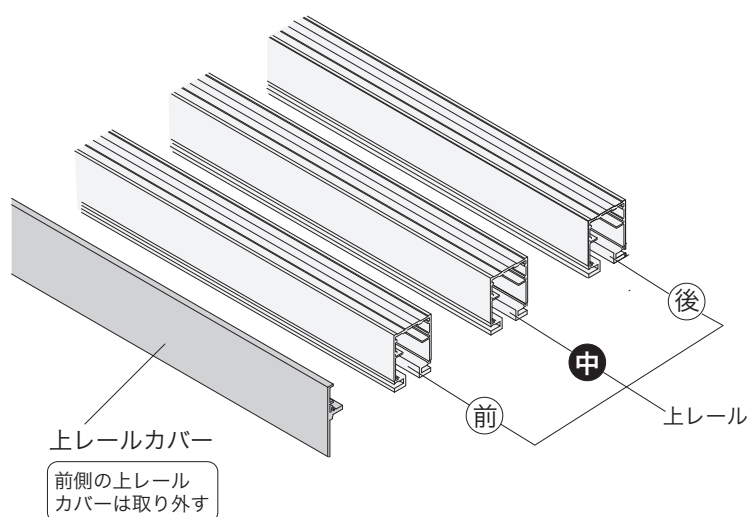
単位：mm

R=レール本数に関係のないレギュラーな共通施工手順 E=レール本数で異なるイレギュラーな施工手順

施工手順

1 事前準備 E

扉上部のパーツ構成は、下記の内容となっています。内容確認後、上レールカバーを事前に取り外してください。

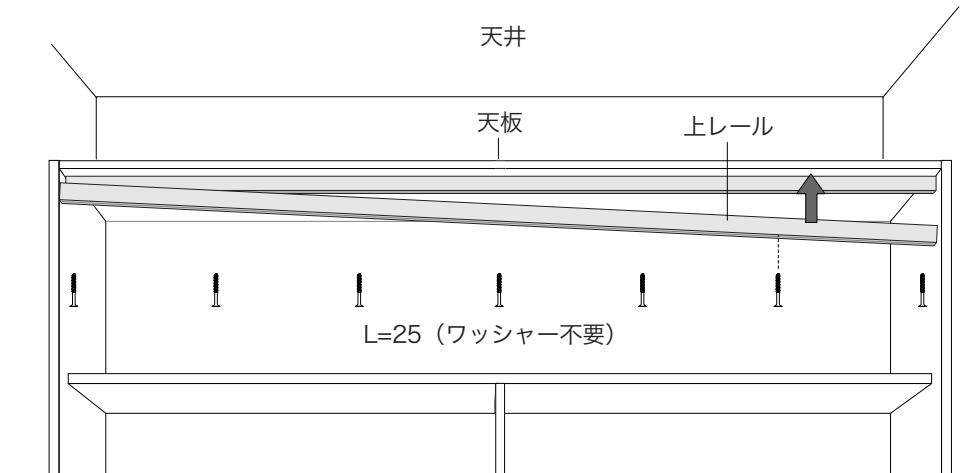


2本レールの場合は ⊕ が無い状態です。詳しくは別添の製品詳細図を参照ください。

⚠️ 取り外した前側の上レールカバーのネジL=8は、最終取り付けの際に使用するので、紛失しないようご注意ください。

3 上レールの取付方法 E

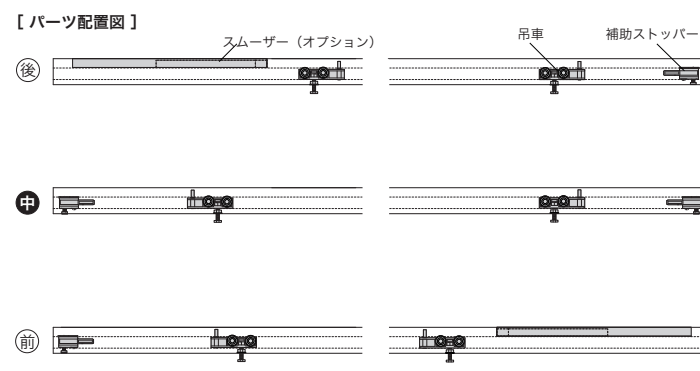
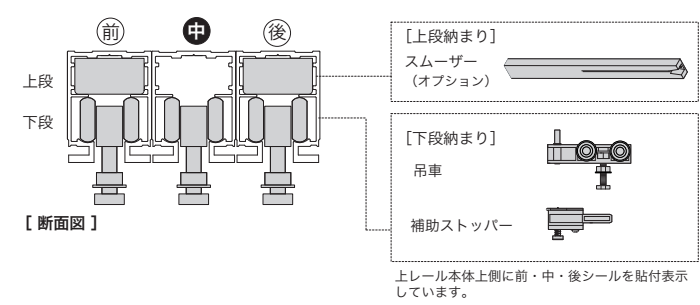
ビスL=25mmで天板部分に上レールを(後)から順に1本ずつ取り付けます。プラン必要本数のレールをビスで固定してください。



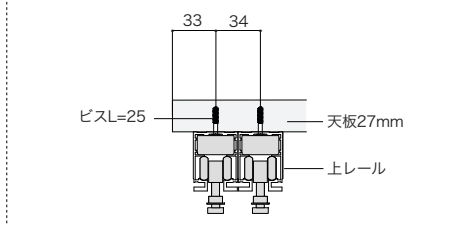
⚠️ 上レール前側に取り付けているレールカバーを事前に取り外しておいてください。各種調整作業後、最終段階で再び取り付けます。

2 確認事項 E

上レール内に下記のパーツがセットされているか確認してください。上レールは、(前)用・(中)用・(後)用各1本ずつあります。それぞれ2段構造になっています。各段の正しい位置にパーツがセットされているか確認してください。

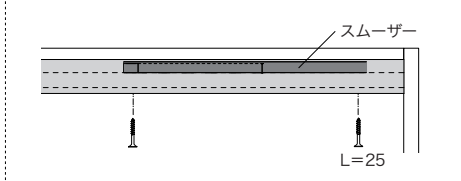


【上レール納まり図】



【スムーザー (オプション) の固定】

上レールの設置が終了したら、スムーザーをビスL=25で固定してください。



単位: mm

R=レール本数に関係のないレギュラーな共通施工手順 E=レール本数で異なるイレギュラーな施工手順

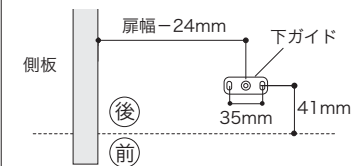
施工手順

4 下ガイド/下ガイドローラーの取付方法

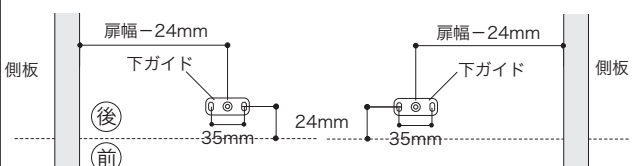
3枚(3本レール)・3枚(2本レール) 下ガイドの取付方法

下図を参照し、取付位置を墨出し下ガイドをビスL=19で固定します。詳しくは別添の製品図を参照してください。

3枚(3本レール) 【上面図】



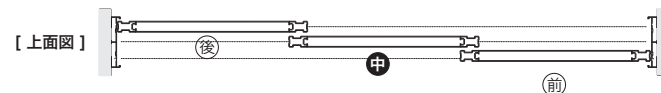
3枚(2本レール) 【上面図】



5 扉の取付方法

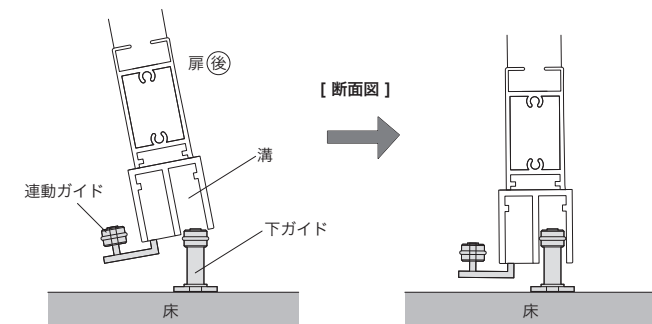
1 下部(扉後)の取付方法

下ガイド/下ガイドローラーとともに扉(後)から取り付けてください。次にそれぞれ2を参照して、上部を取り付け・固定後、次の扉の取付作業を行ってください。



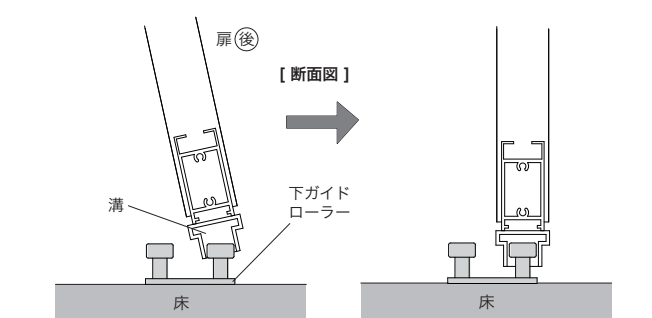
3枚(3本レール)・3枚(2本レール)

下ガイドにゆっくりと、扉(後)の溝をはめ込みます。扉は持ち上げながら挿入するとスムーズに取り付けられます。



2枚

下ガイドローラーにゆっくりと、扉(後)の溝をはめ込みます。扉は持ち上げながら挿入するとスムーズに取り付けられます。

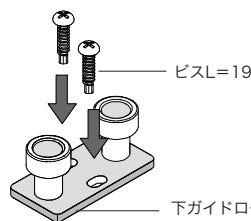
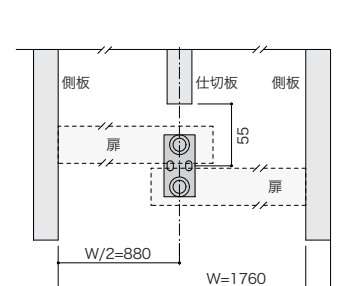


扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏が合っているかどうか再度確認してください。表裏を逆に取付けてしまうと運動ガイド位置が逆になり、以後の施工ができなくなります。

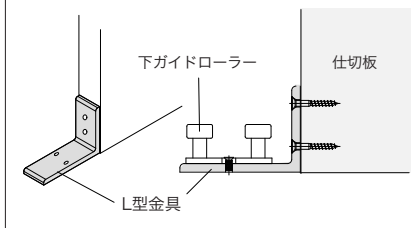
2枚 下ガイドローラーの取付方法

下図の指定位置に、下ガイドローラーをビスL=19で固定します。詳しくは別添の製品図を参照してください。

【上面図】



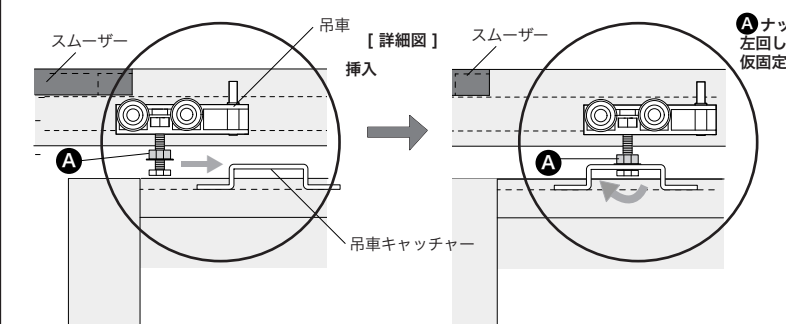
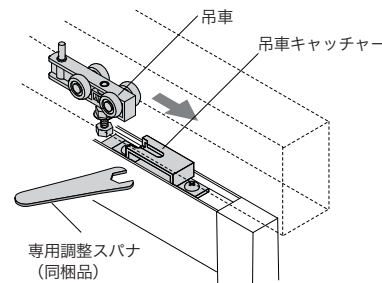
浮付施工の場合は、仕切板にL型金具をネジL=8で固定し取り付けください。



2 上部の取付方法

扉を垂直にして、上レールの吊車を、扉の吊車キャッチャーに挿入し、奥までしっかり差し込み、専用調整スパナ(同梱品)を使ってAのナットを締めて仮固定してください。建てつけ調整は、すべての扉を取り付け後行ないます。(6参照)

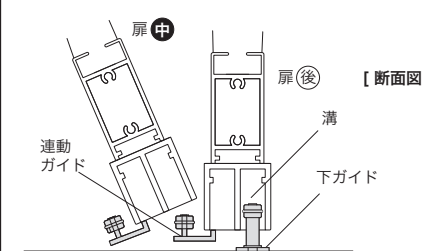
必ず奥まで差し込んで固定してください。差し込みが甘いと、振動や衝撃で余分な負荷がかかり、扉の故障の原因となります。



3 扉(前)の取付方法

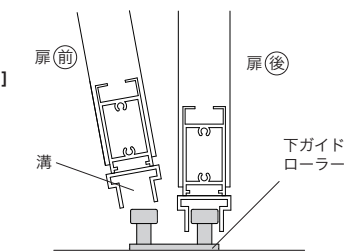
3枚(3本レール)・3枚(2本レール)

運動ガイドに、扉(前)の後側の溝を挿入します。扉(前)も同じ要領で取り付けます。



2枚

扉(前)も、(後)と同じ要領で下ガイドローラーに挿入します。

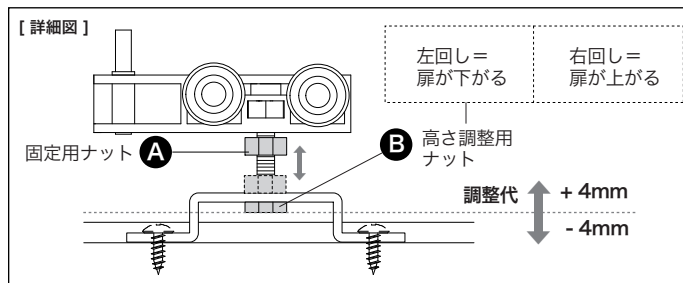


※3枚(2本レール)・扉(前)には運動ガイドはありません。

それぞれ2を参照し、上部を取り付け・固定後、次の作業に移行してください。

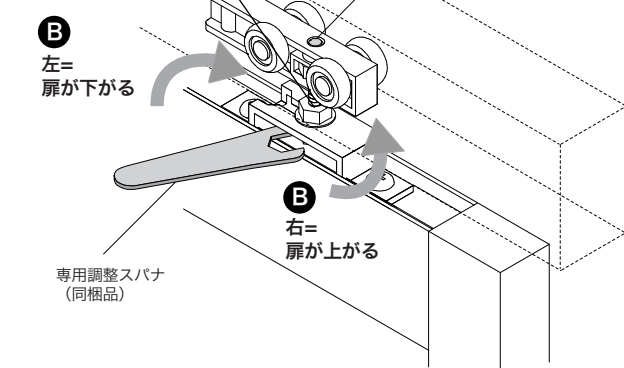
6 高さの調整方法

- Aのナットを専用調整スパナ(同梱品)で右に回し、ゆるめます。
- Bのナットを回し、扉の高さ調整を行ないます。(調整代±4mm)
- Aのナットを左に回し、ベストな状態で固定します。



調整代 ±4mm

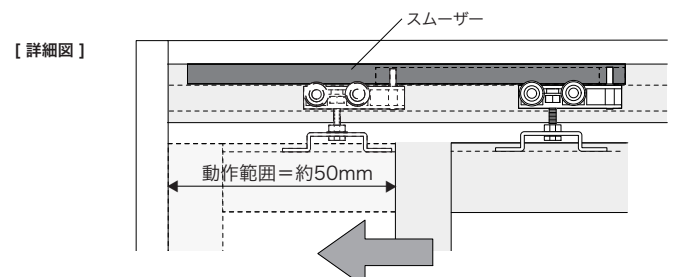
調整ボルトは凹凸のないフラットな状態が±0のポジションです。出荷時は±0の状態です。



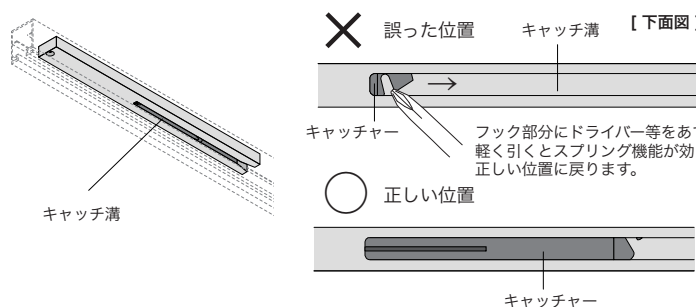
調整代±4mm以上の調整を行なった場合、引違戸の外れや他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。

7 スムーザーの動作確認

扉をスライドさせスムーザーが正しく動作しているか確認してください。

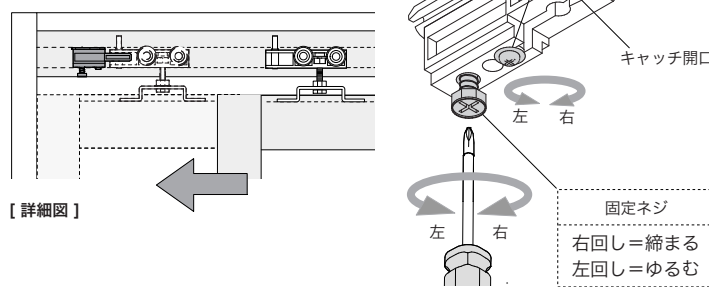


スムーザー内のキャッチャー位置が正しくないと、スムーザー機能が動作せず扉がゆっくり閉まりません。下図を参照し、キャッチャー位置を確認してください。正しくない場合は、キャッチ溝にドライバー等を挿入し、軽く引き正しい位置にもどしてください。



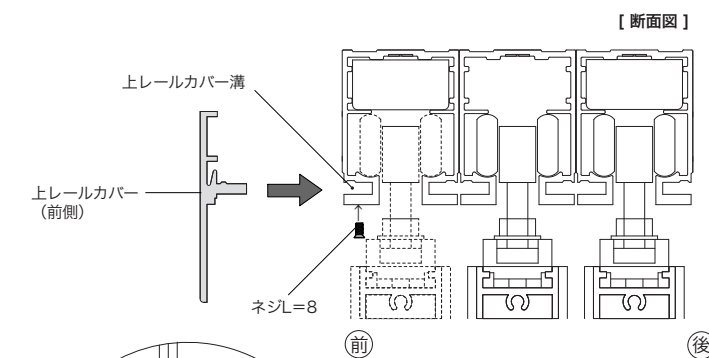
8 補助ストッパーの固定・調整方法

- 出荷状態で仮固定されていた補助ストッパーを、扉を閉めてストッパーが機能する箇所まで移動させてください。
- 機能する箇所、固定ネジを締め本固定してください。
- キャッチ開口の幅が狭く閉まりにくい場合や、広すぎてゆるい場合は、キャッチ調整ネジでキャッチ開口の幅を調整してください。最後に扉の開閉を行ない、適切に機能しているか確認してください。



9 上レールカバーの取付方法

すべての取り付け・調整が終了したら、1で取り外していた前側の上レールカバーを下図の方法で取り付けてください。固定はサイズに関わらず6カ所です。下から1で取り外していたネジL=8で固定してください。



電動工具は使用しないでください。トルクが強すぎると、ビス頭がつぶれるおそれがあります。

【拡大図】